

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	別荘かまぼこ株式会社本社工場 building	階数	地上3F
建設地	貝塚市二色南町	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条指定地域	平均居住人員	125 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,056 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年8月7日
敷地面積	12,448 m ²	作成者	得津
建築面積	4,872 m ²	確認日	2019年8月8日
延床面積	9,392 m ²	確認者	大橋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境(敷地内)

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

3 設計上の配慮事項		
総合	貝塚市に新設される工場の計画である。工場内事務所の執務空間は空気質環境に配慮し、工場周辺部については緑地を多く配置する計画とすることで、利用者の快適性向上を図った。また、高効率設備の採用等により省エネルギーに配慮した計画とした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆を使用するなどし空気質環境に配慮し利用者の快適性向上に努めた。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の長い仕上げ材や配管材等を採用し建物の耐用性向上に配慮すると共に階高や壁長さ比率に余裕をもたせフレキシビリティのある計画とした。
LR1 エネルギー	LED照明など高効率設備の採用で省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水機器の採用で水資源の保護に努めた。また再利用が可能なユニット部材の採用やリサイクル材の採用により資源保護に配慮した。デッキスラブには、ニューフェローデッキ(鉄筋トラス付捨て型枠床版工法)を採用し、省資源へ配慮した。
		LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率削減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0071

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	別寅かまぼこ株式会社本社工場建設工事						
	建設地	貝塚市二色南町						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.4	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.5	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							